



学校給食における窒息事故の防止について！

令和6年2月26日（月）、小学校の給食において、1年生の子供が、うずらの卵を喉に詰まらせて**窒息する事故**が発生しました。

御船小では、事故について報道された当日27日（火）の職員朝会時に、事故の概要を確認するとともに、給食指導の在り方や窒息への対処方法について、上村養護教諭に以下のような話をしてもらいました。

○ 給食指導について

- よく噛んで食べるように声をかける。
- 一度に、口の中にもものを詰め込み過ぎないように声をかける。
- 食べる時間を15～20分間は確保する。

○ 窒息への対処方法について

- 窒息をおこした人の頭を胸よりも低い位置にし、肩甲骨の間を叩きます。**（背部叩打法）**
- 窒息を起こした人の後ろに回り、背後から手を回してへその位置を確認します。親指を傷病者のお腹側に向けてへそより上、みぞおちよりも下の位置にあてがいます。へそを確認した手で握りこぶしを包み、一気に上方へ引き上げます。**（ハイムリッチ法）**

背部叩打法

ハイムリッチ法



様々なプロジェクトで、運動場が大賑わい！！

3月1日（金）の昼休み、春のようなポカポカ陽気の中、運動場は子供たちや先生方で大賑わいでした。

この日は、**6年生は「卒業プロジェクト」**で3年生とドッチボールをし、**5年生は「ネクスト・リーダープロジェクト」**で4年生とドッチボールをしていました。

ボールを投げたくてしょうがない下学年の子供たちに、「ボールは、キャッチしたものが投げる。けんかしない。」とアドバイスするやさしい高学年でした。



生出演！「子どもラジオ局」（熊本シティエフエム）

3月3日（日）、正午から50分間、鶴屋デパート1階サテライトスタジオで、熊本シティエフエム「子どもラジオ局」という番組に、本校6年生の計画委員会の浦川新菜さん、横山更紗さん、吉村楓果さん3名が生出演しました。

御船小の自慢や今頑張っていることを紹介してくれました。その中に、能登半島地震で被災された方々に対して募金活動をしたこと、これから応援メッセージを送ることなどを話してくれました。



御船小「ふるさと御船学」～御船町の人・自然・歴史・文化に学ぶ～

今年度、新たに「ふるさと御船学」として、生活科・総合的な学習を行っています。

「ふるさと御船学」の目的は、「**地域と積極的に関わる体験活動の場を設定し、ふるさと御船に誇りを持ち、地域と関わり合いながら自分の将来の夢について考える**」ことです。こうした学習を通して、**御船町の人・自然・歴史・文化**を、今よりもっともっと関心を持ち、大好きになってほしいと思います。

～下期:2・5・6年生の取組を紹介します。～

【御船町探検・2年生】

期日：令和5年11月16日（木）

場所：御船小校区

内容：生活科で、学校周辺を歩いて探検しました。学校周辺には、ふれあい広場（恐竜公園）や大きな店などの「行ったことがある」「よく行く」ところと、御船郵便局や御船警察署、上益城消防署、御船町役場など、**建物がある場所は分かるが、どんな仕事をしているのかよくわからないところがあることに気づきました。**



【御船川探検・5年生】

期日：令和5年9月29日（金）

場所：御船川

内容：理科の「**流れる水のはたらきと土地の変化**」の学習のまとめとして、御船川の観察に行きました。

御船川の曲がっているところに注目し、外側と内側では川の水の流れがどちらが速いかを観察したり、石の大きさや形はどのようになっているのかを熱心に調べたりする姿がありました。

ふるさと御船町に流れる川を知る良い機会になりました。



【御船町の文化財探検・6年生】

期日：令和5年12月18日（月）

場所：小坂大塚古墳・東禅寺

内容：御船にある古墳や地層、文化財を見学しに行きました。初めて見る古墳や埴輪に子供たちは興味津々でした。

文化財を見学に行った東禅寺では、住職の藤岡さんから、「合掌、お釈迦様、人との接し方」についてお話をいただきました。

特に、合掌のことについては、食事をするときの「いただきます。」についても触れられました。話を聞いた多くの子供たちから、「いただきますのときに手を合わせる理由が分かった。これからは意識して手を合わせたい。」と感想が出ました。

御船町の素敵なところを発見する良い機会にもなりました。

